

ガバナーメッセージ

ロータリー財団への期待

国際ロータリー第2750地区 2010-11年度 ガバナー 辰野 克彦



1917年のアトランタ国際大会で、アーチ・クランフが「ロータリーには基金が必要だ。基金を作って世界でよいことをしよう。」と呼び掛けてから93年が過ぎました。あと7年で100周年を迎えるロータリー財団 (TRF) は今、変革の時を迎え、新しいビジョンとして「未来の夢計画」を発表しました。現在はこの新制度の試行期間中ですが、2013-14年度からは、世界中でこの制度が正式に実施されることとなります。

これまでもポリオ撲滅をはじめとし、教育的プログラム、人道的補助金プログラム、最近ではロータリー平和フェロシップも加わり、多様なプログラムを提供してきたTRFは、「未来の夢計画」で何を変えようとしているのでしょうか。

新制度では、寄付の集め方は従来通り、シェアシステムも変わらないが、プロジェクトへの資金の使い方が変わるとのことです。6つの重点分野(脚注)に限定されますが、「グローバル補助金」という大型のプロジェクトに使える補助金が用意されるということです。これを利用しますと、かなり影響力の大きい、世界規模の事業を行うことができます。これぞ世界中にネットワークがあるロータリーだからこそできるプロジェクトといえます。TRFは、ロータリー外の組織と組んで、さらに大きい事業を展開することも視野に入れています。結果として、ロータリーの存在を世界の人々に知らせることになるので、ロータリーの存続、発展にもつながることになります。このように大型プロジェクトを推進する一方で、「新地区補助金」という、クラブがそれぞれの身近な小さなニーズに応じていくものも設置されています。「新地区補助金」の活用方法は、TRFから夫々の地区に権限移譲されるとのことですから、TRFもこの補助金に関しては、地元のニーズを知っているところに任せようという考えになったものと思われる。

従来のマッチング・グラントに当たるプログラムに関して言えば、新制度ではある程度以上の資金的スケールを持ったプロジェクトでないと、これまでのような割合では補助金が出てこないということになります。従って一つのクラブではこの補助金の活用が難しくなる場合があるので、幾つかのクラブが協力して、一つのプロジェクトに取り組み、合同でプロジェクトを行う必要も出てくるものと思われます。

TRFでは、寄付するのも、寄付したお金を使うのもロータリアンです。TRFに集まったお金を自分達の身近なプロジェクトに活用することができますし、同時に、自分たちが直接関わらなくても、例えばポリオ撲滅のような大型プロジェクトを支えることもできます。その両方が実現できることがロータリー財団の魅力と言えます。

ロータリーの中核をなす5つの価値観のひとつに、「多様性」があります。これは会員の在り方だけでなく、奉仕プロジェクトの在り方にも言えることです。世界中のロータリアンが協力して成し遂げる大事業、海外のロータリークラブや国内、地区内のロータリークラブと協力して一緒に行うプロジェクトへの参加、ロータリー本来のそれぞれのクラブ内で行うプロジェクト等があります。その多様性の中で、どのように奉仕プロジェクトを行っていくかを考えるのは、ひとり一人のロータリアンであり、クラブなのです。

何より重要なのは、TRFが、「ここに寄付すれば、自分たちが参加できないプロジェクトであっても、どこかで必ず、必要とされている人々のために有効に使われているのだ」と世界のロータリアンから理解され、信頼され続けることです。これがあってTRFへの寄付も増進し、尚一層、ロータリー財団はロータリアンの誇りとなっていくでしょう。

脚注 6つの重点分野：① 平和と紛争予防／紛争解決
② 疾病予防と治療 ③ 水と衛生設備 ④ 母子の健康
⑤ 基本的教育と識字率向上 ⑥ 経済と地域社会の発展
TRF：ロータリー財団 (The Rotary Foundationの頭文字から)

INDEX ※ ③～⑭は、地区ホームページ(Web)上に掲載しております。

<http://www.ri2750.org/>

1 ガバナーメッセージ

6 山の手西グループ 活動通信

12 クラブ紹介(マリーンRC/広尾RC/渋谷RC/青山RC)

2 ロータリー財団委員会
[GSE(研究グループ交換)の実施に向けて]

7 多摩中グループ 活動通信

13 クラブ紹介(自由が丘RC/飛火野RC/昭島中央RC/武蔵国分寺RC)

8 多摩東グループ 活動通信

14 クラブ紹介(たまがわRC)

3 地区行事日程

9 RYLA委員会 活動通信

15 寄付報告/文庫通信/小倉バスト・ガバナーを偲んで/物故

4 銀座・日本橋グループ 活動通信

10 広報委員会 活動通信

16 出席報告/編集後記

5 京浜グループ 活動通信

11 クラブ紹介(レインボーRC/シティ日本橋RC/大崎RC/京浜RC)

GSE (研究グループ交換) の実施に向けて

ロータリー財団委員会 委員長 福井 衛 (東京武蔵府中RC)

ロータリー財団のプログラムは、現在は基本的に ① 教育的プログラム、② 人道的プログラム、③ ポリオプラス・プログラムの3分野に区分されています。

GSE (Group Study Exchange・研究グループ交換) は教育的プログラムに位置付けられ、専門的な職務経験の浅い24歳から40歳までの若い社会人のために、文化的かつ職業交換の機会を提供するユニークなプログラムです。

二つの異なる国のロータリー地区同士がペアになり、基本的にはロータリアンの団長1名とロータリアンでない若い現役職業人4名の計5名で編成されるGSEチームを、お互いに4~6週間の期間で派遣しあいます。

このプログラムは地元社会及び国際化が進む職場のニーズに対応できるよう、若い社会人の専門能力と指導力を磨くことを意図し、一方、ロータリアンへはチームを交換しあうプログラムに参加し、教育的な体験を分かち合うことで、ロータリーの世界的な活動を深める機会を提供します。

GSEは世界的にはとても人気のあるプログラムで、日本でも毎年、GSEを実施している地区もありますが、当地区では2007-08年度(坂本PG)にフランスの第1670地区と交換して以来3年振りに実施します。

今回の相手地区はアメリカの第6450地区です。この地区は辰野ガバナーのホームクラブである東京西ロータリークラブが長年に渡り姉妹(友好)クラブを結んでいる、シカゴロータリークラブ…いわゆるナンバーワンクラブが所属している地区で、辰野ガバナーのご尽力によりGSEが実現しました。

2013-14年度から全世界的に始まるロータリー財団の未来の夢計画に基づく新システムではGSEは廃止され、GSEを実施する場合は通常2年前くらいから準備を始めますので、当地区では今回のGSEが最後になると思います。

今回は両地区の合意により概ね次の内容でチームを交換します。

1. 当地区への受入れ … 2011年2月15日~3月15日
2. 相手地区への派遣 … 2011年5月1日~5月30日
3. チーム編成 …… 両地区とも団長1名、団員5名の計6名編成
4. 宿泊先 …… 原則として平日はロータリアン宅へのホームステイ

受入・派遣の時期は両地区の地区大会を組み込み、両チームともそれぞれの地区大会の壇上で紹介されることになっています。なお、当地区からの派遣チームの団長は東京恵比寿RC会員で本年度地区GSE副委員長の平岩共代さんが務めます。

団員5名につきましては、本年9月末日(当初8月末締切りを1ヵ月延長)を締切りとして地区内全クラブに候補者の推薦をお願いしたところ、6クラブから計7名の推薦がありました。選考試験は本年10月16日(土)に行われ(各30分間の面接選考)、男性3名、女性2名の計5名が決定しました。

なお、団員の推薦クラブならびに氏名・職業などの詳細に関しましては、別途ロータリー財団ニュース等によりお知らせ致します。今回、決定した派遣チームは出発までに数次に渡って開催されるオリエンテーションへの出席が義務付けられます。

また、シカゴ地区からの受入につきましては、現在、地区GSE委員会で先方の要望等を斟酌しながら詳細な受入スケジュールを作成しております。受入スケジュールが固まり次第、各クラブの皆様には改めてご協力をお願いをさせていただきますが、受入チームのクラブ例会へのご招待、ホームステイ先のご紹介などにつきまして何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

2010-11年度 地区行事日程 (11-12-1月)

11月 1日(月)	9:20 ~ 13:30	公式訪問 東京築地、東京中央、東京中央新	
11月 1日(月)	15:00 ~ 17:00	2010-11年度 拡大運営会議	ガバナー事務所
11月 4日(木) ~ 11月 6日(土)		2010-11年度 韓国 第3650地区大会	ソウル ハイアットホテル
11月 8日(月)	16:00 ~ 20:00	2010-11年度 山の手東G インターシティミーティング	ホテルニューオータニ
11月 9日(火)	18:00 ~ 21:00	東京恵比寿RC15周年記念例会	ウェスティン東京
11月 10日(水)	14:00 ~ 16:00	2011-12年度 ガバナー補佐研修会	ロイヤルパークホテル
11月 11日(木) ~ 11月 22日(土)		公式訪問 PBG	
11月 24日(水)		2010-11年度 R財団地域セミナー	
11月 25日(木)	夕方	2010-11年度 RI会長歓迎晩餐会	リーガロイヤルホテル (出席:辰野G、片倉GE、佐久間GN)
11月 25日(木)		2010-11年度 メジャードナー午餐会	
11月 25日(木)		2010-11年度 第2回 ガバナー会会議	
11月 25日(木)		2011-12年度 第2回 ガバナー・エレクト研修セミナー (GETS)	
11月 25日(木)		東京調布むらさきRC20周年記念例会	
11月 26日(金) ~ 11月 27日(土)		第39回 ローター研究会	大阪国際会議場とリーガロイヤルホテル
11月 27日(土)	14:00 ~ 16:30	2010-11年度 ライラリアン勉強会	JICA地球ひろば
11月 29日(月)	15:00 ~	2010-11年度 多摩南G インターシティミーティング	京王プラザホテル八王子5階「翔王の間」

12月 4日(土)	15:00 ~ 16:30	東京南RC 創立60周年記念式典・忘年家族会 (17:00~20:00)	東京會館 11階「シルバールーム」
12月 7日(火)	15:00 ~ 17:00	クラブ代表者会議 (前年度財務)	ホテルオークラ東京
12月 8日(水)	14:00 ~ 16:00	2011-12年度 ガバナー補佐研修会	ロイヤルパークホテル
12月 9日(木)	18:30 ~ 20:30	2010-11年度 ガバナー・ガバナー補佐打合せ	未定
12月10日(金)	15:00 ~ 17:00	2010-11年度 運営会議	ガバナー事務所
12月11日(土)	18:30 ~ 21:00	2010-11年度 米山記念奨学委員会 奨学生 YEAR END PARTY	ホテルニューオータニ
12月14日(火)	15:00 ~ 17:00	2010-11年度 地区役員会	ガバナー事務所
12月15日(水)	9:00 ~ 19:00	2010-11年度 米山選考試験等	グランドプリンスホテル高輪さくらタワー
12月29日(水)		ガバナー事務所年末年始休暇 [2011年1月3日(月)まで]	

2011年			
1月16日(日) ~ 1月22日(土)		2011年 国際協議会	カリフォルニア州 サンディエゴ
1月17日(月)	14:00 ~ 17:00	2010-11年度 奉仕プロジェクトセミナー	ハイアットリージェンシー東京(新宿)
1月18日(火)	15:00 ~ 17:00	2010-11年度 運営会議	ガバナー事務所
1月18日(火)	18:30 ~ 20:30	2010-11年度 辰野年度地区拡大役員会メンバー新年会	未定
1月19日(水)	15:00 ~ 17:00	2010-11年度 山の手東グループ協議会	ガバナー事務所
1月28日(金)	15:00 ~ 17:00	2010-11年度 第2回 クラブ会長・幹事会	ザプリンスパークタワー
1月29日(土)	10:00 ~ 17:00	全国RYLA研修会	グランドプリンスホテル新高輪
1月31日(月)	13:00 ~ 18:00	2010-11年度 多摩東G インターシティミーティング	調布市文化会館たづくり(午後~夜を予定)

※上記の地区行事日程は変更する場合がございます。予め事前にご確認の上、ご参加下さい。 ★青文字は片倉年度の行事予定です。

銀座・日本橋グループ 活動通信

「命の水基金」の設立

東京銀座RC 会長 塚本 清士郎

東京銀座ロータリークラブでは、国際奉仕委員会を中心に奉仕プロジェクト委員会、社会奉仕委員会の共催で本年度10月より「命の水基金」を設立致しました。

地球上にある水は約14億立方キロメートルで、人間が容易に使える水は全体のわずか0.01%にしか過ぎません。又、地球の全人口の12.5%はクリーンな水を確保できず、毎年330万人が水に起因する疫病で死亡しているという現状があります。

私達の例会には必ず水は無料で提供されていますが、私達はそれを口にする時、美しく豊かな日本の自然と水に感謝し、大切にし、その水を口にする事ができない人々に想いをはせ、例会の各テーブルに「命の水」醸金コップを置き、自由意思で一人100円ずつ入れて頂くシステムを導入致しました。

この「命の水基金」は単年度ごとに使い切ることなくプールし、大規模な自然災害(ハイティ、ペルー大地震等)、または人災(戦争、内戦等)に対し、主として飲料水の補給を目的とし、東京銀座ロータリークラブ独自の迅速且つ有効な拠出金として活用致します。



東京日本橋 RC 活動報告

東京日本橋RC 会長 直江 一雄

今年度の方針として、『奉仕とは何かをもう一度考えよう』『そのために積極的に汗をかいてみよう』と提唱しました。それをロータリーの5大奉仕に則って具体的に検討を重ねました。

1. 社会奉仕

陶芸同好会の作品をチャリティとして出品して、収益金を交通遺児育英会に寄付をしようとするものです。これは、多くの方に楽しんで参加していただき、結果として困っている人たちの支援に繋がるということで、無理のない新しい試みです。

2. 国際奉仕

『NPO法人スーダン視覚障害者支援の会』への金銭面、人的支援の面での協力。理事長が元米山奨学生であったのが縁。まだ学生で全盲にも関わらず、ひたむきに行動する姿に共感しました。

3. 職業奉仕

職業奉仕見学会として、伝統的な日枝神社の仲秋管絃祭を見に行きました。

4. クラブ奉仕

例会に来るのが楽しくなるように、さまざまな工夫を凝らしました。また、会員同士の相互理解のために、会歴の古い人たちにも卓話をしてもらう機会を作りました。

5. 新世代奉仕

ローターアクトとロータリアンの相互交流と共同作業を進行させています。



ローソクをみんなでふ〜っ!
(毎月第1例会日に誕生日)

地域活動通信

東京築地RC 広報・クラブ会報委員会 鈴木 昭樹

当クラブでは8月19日(木)～20日(金)の一泊二日で、交流のある月島第二小学校の27名(4年生～6年生女児13名・男児8名、大人女性3名・男性3名/校長・PTA会長を含む)とクラブ6名が、山梨県北杜市にある社会福祉法人緑の風と農業生産法人緑風舎で、福祉施設を利用する方々と共にふれ合い農園芸を体験するプログラム【八ヶ岳麓麓でのふれあい農園芸体験】を楽しんでまいりました。このプログラムは当クラブの職業・社会奉仕委員会が昨年立ち上げたもので、今回で2回目となります。この二施設は現武田クラブ会長が運営される施設で、社会福祉法人では障害のある人たちが自然豊かな環境で農作業やクッキー・パンの生産に健常者と共に従事し、隣接する農業生産法人では花苗・ラン農場を営んでいます。この環境の中で障害のある福祉施設を利用する人たちと共に農作業・花苗作業を共に行った事は小学生にとってよい体験だったと思います。また公立学校で学年を超えた校外生活が出来た事も貴重な体験であったと思います。



京浜グループ 活動通信

東京品川 RC 上半期の奉仕活動

東京品川RC 会長 加藤 節夫

本年度東京品川ロータリークラブはクラブスローガン「つなごうクラブと世界・クラブと地域」の基、国際奉仕としてカンボジア教師育成支援合同プロジェクトに参加しており、他クラブと共にカンボジアの子供達が将来良い教育を受け、国造りに成果が上がるよう支援しています。又、世界に日本の素晴らしさを伝えるべくベルギーからの青少年交換学生ウベルティー・マリー君の受入れをしており、派遣候補生磯部里紗君(15歳)のスポンサーを務めています。



社会奉仕ではインターンシップ受入を行い、8月23～26日に亘り都立八潮高等学校の1年生6名をクラブ会員会社2社で実施しました。10月26日には地区補助金対象事業として品川社会福祉法人ふれあい作業所の知的障害者70名を屋形船に招き、普段楽しみの少ない障害者達に楽しんでもらいます。

クラブの模索

東京港南RC 会長 湯川 良一

大田区・品川区のおおむね東海道線の東側の沿岸をテリトリーとするクラブです。現在の会員数は20名、38年の会歴を重ねています。

クラブにおける最大のテーマは会員数の減少と会員の高齢化対策です。嘗ては74名程の会員が在籍していましたが、少しずつ櫛の歯が欠けるように会員が減少し、会員の高齢化も進んできました。

振り返れば、日常において会員の増強にあまり関心を払わずに、会の運営を行ってきた付けが回ってきたわけです。広い地域から会員を集めるといふ会の基盤の作り方は、経済の高度成長している頃は、クラブの多様性や柔軟性を保つ事に役立ちましたが、不況になると、クラブのアイデンティティを保つ事に苦勞するようになり、会員の心に占めるクラブの重要性が落ちて行ってしまいました。

求心力の低下はクラブの活力を低下させ、新会員の勧誘も迫力に欠けるものができます。現在はそのスパイラルの中で苦しんでいる状態です。

もう、ロータリークラブには何も得るものが無い、といわれて退会された会員がいました。しかし、ロータリークラブは自分が「社会やクラブ」に何を貢献するのかという精神で成り立っているものです。

会勢の増大は逆転ホームランはありませんが、クラブが会員にとって大切な拠り所として存在するために、何が必要かを、問い続ける活動を続けようと、会員一同頑張っています。

骨髄バンク支援活動

東京マリーンRC 会長 菊池 学自

クラブは創立2年目から骨髄バンク委員会を常設して骨髄移植に伴うドナー登録の支援として年2回の奉仕活動をおこなっております。内容としては、来年4月に第17回を数えます骨髄バンクチャリティーゴルフコンペで100人位の一般の方募集中心に開催予定です。大勢の方々が訪れる宿場祭りに東京マリーンRCでブースを借り会員や知人からバザー品を集たり長野県松川村の農家の協力を得て野菜や果物を販売しております。今年は天候不良の影響を受け少ない仕入れにも拘らず、会員努力で目標収益を上げることが出来ました。

毎年楽しみに訪れる方も大勢いて東京マリーンRCの地域社会奉仕活動を多くの方に知ってもらい広報に役立っていると胸を張れます。

収益は公的骨髄バンクを支援する東京の会、骨髄バンク推進財団と佐藤きちこ基金(患者家族支援目的)に寄付しております。活動で会員の結束力を深め新たな奉仕活動を実行していく上で今年度のクラブテーマでもある「誇りと希望」を持ち続けています。今年度国際奉仕にも何かを実行しようと模索しております。



山の手西グループ 活動通信

山の手西グループ活動通信

山の手西グループ ガバナー補佐 小粥 定美 (東京成城新RC)

本年度、当山の手西グループはI.M.を年度が始まって直ぐの7月26日(月)実施致しました。グループ内クラブ会員に出来るだけ負担をかけないように登録料も低額に抑え実施時間を18:30からと致しました。当日は地区から辰野ガバナーを始め、片倉ガバナー・エレクト、谷島研修リーダー、鬼島研修リーダー補佐、地区幹事の皆様にご出席いただき盛大に開催する事が出来ました。

I.M.はご存知の通りInter-city Meetingの頭文字で、都市間の情報交換と親睦の意味であると思います。しかしこれはアメリカ、カナダ、オーストラリア、インド等の広大な国や幾つかの国が1つの地区となっているような地域には当てはまるとは思います。日本、特に東京のように同じ都市に2つの地区があり、さらにその中で限られた地域にあるグループには該当致しません。そこで私はこれをInter-club Meeting即ちクラブ間の情報交換と親睦と読み替えさせて頂きました。ロータリーは親睦と奉仕が車の両輪といわれておりますが、私は親睦に駆動の基があると思います。親睦の力が伝わり奉仕という形を作り出すのだと思います。

そこで今年度山の手西グループのI.M.のコンセプトを「親睦」と致しました。講演会等ロータリー活動に直接関係ないものは一切省き、30分のその後直ちに懇親会に移りました。グループ内クラブ会員の親睦をテーマにした為出来るだけ年度の早い時期に親睦を深め、今年度辰野ガバナーの強調事項である「合同プロジェクトの推進」にも結びつけようという考えから年度が始まったこの時期にI.M.を実施致しました。

他クラブ会員との「親睦」「情報交換」というコンセプトから異なったクラブ会員が1つのテーブルに着き、与えられたテーマに基付き飲食をしながら討議をして頂きました。

テーマは「例会の出席率を上げるためには」「地域社会奉仕について」「国際奉仕について」「会員増強について」「青少年交換プログラムについて」「ロータリー財団について」で事前に自分が加わりたいテーマを選んで頂きそのテーブルに座って頂きました。各テーブルには進行役として各クラブ会長、幹事とクラブから推薦して頂いた会員が1人づつ座って頂き討議をリードして頂きました。実施前には飲食が中心になり討議はおろそかになるのではないかと危惧致しましたが(それでも親睦が深まれば良し、と考えておりましたが)大変活発に討議をして頂き、成果を上げることが出来ました。当日会場ではその結果については発表せず、次のグループ協議会で会長、幹事に発表して頂きました。その内容をみますと、如何に皆様が親睦を深め乍ら真剣に討議をされたかが良く分かり本当に良かったと思っております。



多摩中グループ 活動通信

東京井の頭 RC の青少年育成事業：宇宙少年団の活動支援

東京井の頭RC IT広報委員長 篠原 准

青少年育成の一環として支援している日本宇宙少年団の活動をご紹介します。

7月、恒例となっている夏合宿を、長野県川上村で開催しました。当クラブからも8名の会員が参加し子供たちの指導にあたりました。この合宿では、ソーラーカーの工作や星空観察、野辺山天文台見学などを行いました。

星空観察では天体望遠鏡を使って、惑星を観察したのですが、木星の衛星や土星の輪がはっきりと確認できて、参加者の間に歓声が広がりました。

また、夏の大三角形や夏の星座について学びました。

帰りには全員でバーベキューを行い、楽しく2日間の合宿を締めくくりました。



「宇宙少年団分団サイエンスキッズみたか」はこれからも電子顕微鏡による観察やホーバークラフトの工作など、科学全般を学ぶ活動を予定しており、当クラブとして引き続き支援をしていきます。

● 今までの活動テーマについて

■ 東京井の頭ロータリークラブが誇る継承事業

三鷹市を取り巻く環境として、国立天文台、JAXA（宇宙航空研究開発機構）などがあり、科学の町三鷹の中で生活を共にしています。その中から生まれた「宇宙少年団分団サイエンスキッズみたか」が設立され、「三鷹から宇宙飛行士を」の夢実現に向けて青少年の健全育成に貢献する奉仕活動、地球未来・夢・委員会を作りました。

そして設立5年目に、あのスペースシャトルエンデバーに日本で初めて登場した宇宙飛行士 毛利 衛 氏の講演が実現したのです。三鷹の青少年たちに、「地球環境を守るために、今できること」その熱い思いを語ってくれました。

ロータリーは単年行事が基本ですが、高橋甲子夫委員長のもと奉仕活動は、来年で10周年目を迎えます。現在も歴代会長が継承して進めています。

■ 21～22年度

10月	国立天文台見学
11月	ロボットを作ろう1
12月	ロボットを作ろう2
22年 1月	人工衛星をさがそう
2月	科学未来館見学
3月	飛行機を飛ばそう
4月	音について考えよう
5月	折り紙の不思議
6月	おもしろ万華鏡
7月	夏季合宿
8月	火薬ロケットを飛ばそう
9月	科学ちぎり絵

・ 月1回の土・日曜日を使って、「宇宙少年団分団みたか」は活動を重ねています。

多摩東グループ 活動通信

花火鑑賞と体験教室をしました

東京稲城RC 広報委員長 糀谷 信之

新会長の就任と共にすぐ来る大きな行事は、調布の花火大会の親睦行事である。この花火大会は毎年行うクリスマスと同様に家族や地域活動の時、お世話になった方々を招待し、盛大に行い本年度の活動方針や抱負を吉川会長より参加者全員に報告をし、食事をし、今しも会場外で行われている壮大な花火に酔いしれる一夜を味わいました。そして、本年度は一年を通じての活動を「広報活動の充実」を目的に、地域にロータリー活動をもっと知ってもらう為に、当クラブは、稲城市の主要施設にロータリークラブに関する資料を常時展示出来るようにする。尚、今現在 市と折衝中であり、方向としては良い風向きとみてます。



毎年、知的しょうがい者による体験教室を行っていますが、今年は、9月に稲城第5中学校の特別教室の子供達とその保護者を招いて、地元の特産物である梨を自分自身の力で“もぎ”そして、実際に自分でもぎ取りをした梨を参加者全員で試食し、昼ごはんを食べながら交流をはかると共に、活動場所の提供者であり、東京稲城RCの会員である川島会員より、この梨園は稲城の梨作りの始まりを伝える「多摩川梨発祥之地」の地であり、その記念碑が建てられている由緒ある梨園と説明をうける。最後に稲城の梨アイスクリームを食しその美味しさに皆、満足そうに笑顔で体験教室を終了した。



地域に根ざした継続事業

東京多摩RC 会長 木村 尚昭



当クラブは創立42年目を迎え、11月には第2000回例会を迎えます。クラブ事業には2つの継続事業があります。「第6回 多摩市中学生俳句大会」は、多摩市・多摩市教育委員会の後援のもと、市内9校から2000句以上の応募がありました。選考するにあたり、年々作品の質が向上しており難航しています。また、学校側の協力体制が整ってきたことも顕著に表れており、ご指導に感謝し中学生の健全育成に貢献していることを実感しています。

ショッピングセンターで作品を展示発表し、多くの皆様に当クラブの活動を見ていただくことは広報活動にもつながっています。

もう一つは「花火寄席」です。地元「せいせき多摩川花火大会」は、各方面の協賛金により開催されますが、当クラブでは社会奉仕活動によりこの協賛金を寄付しています。6月に寄席を催し、多摩市近隣の皆様楽しんでいただくことと、地域への広報活動に力を入れています。二つの事業は、当クラブがどんな活動をしているのか、またロータリークラブという団体が地域に適切な団体であることを知っていただく大きな目的があり、新世代奉仕活動および社会奉仕活動だと思っています。少人数のクラブではありますが、継続事業を充実していく為に会員は一丸となってこれからも活動していくことでしょう。また、会員増強が最大の課題となっていますので力を合わせて頑張り、新しい事業についても、ロータリーらしい地道な活動を模索していきたいと思っています。

RYLA 委員会 活動通信

“高まるRYLArianへの期待” ～セミナーの様子と今後の課題～

RYLA委員会 委員長 森家 芳江 (東京神宮RC)

「啐啄」、私の好きな言葉です。

まさに孵化しようとする雛鳥が殻の中で啼くとき、親鳥が機を誤まらず、その場所を的確に啄いてやる動作を言います。

セミナーの様子

選抜された31名の優秀な若者にとって、自己啓発の良きタイミングであり、有意義な出会いの場となった、第7回RYLAセミナーが、厳しい暑さの残る9月18日から20日までの3日間、府中生涯学習センターで実施されました。

連休中にも拘らず50数名のロータリアンのご出席のもと、辰野ガバナーのご挨拶に始まり、最終3日目、ガバナーから直接、受講生ひとりひとりにAWARDが授与されて、セミナーは無事に閉会しました。

1日目は、朝日新聞政治記者、星 浩氏の「今、日本の抱えている政治・経済・外交の深刻な問題」と、善光寺徳行寺74代住職若麻績敬史に依る「チベットの人種問題」についての二つの基調講演を用意しました。現実と心の両面を扱った講話は、心に響く手応えのある内容で、受講者からの数多くの質問が寄せられ関心の高さを覗かせました。続いて、バレーボールは、実技を通して、コミュニケーションの大切さを習得しました。

2日目、慶応大学大学院、高木晴夫教授に依るハーバード大学のメソッドを使用してのケーススタディに取り組みました。1959年製作アメリカ映画「12人の怒れる男」を教材に「情報の共有」の意義を探り、「会議の進め方」等、多くの収穫がありました。夜は谷島研修リーダーの多角的な視点からの「職業と奉仕の理念」についてのご講話。受講生達は夜を徹して、議論に花を咲かせ、親交を深めながら研鑽を積み上げました。

3日目は、学習したことをもとに、今年のセミナーの課題「新しい時代における、新しいリーダーシップ」についての発表がありました。5グループ、いずれも素晴らしいプレゼンテーションに、ロータリアンから惜しみない称賛の拍手がありました。密度の濃い3日間に疲れも見せず、31名の顔は晴ればれと輝いていました。

第2750地区 RYLAの課題

当地区におけるRYLAの歴史は浅く、やっと7年目を迎えたばかりの委員会ですが、2008-10 RI青少年奉仕支援グループアジア担当エリア・コーディネーターの海沼美智子会員(東京恵比寿RC)や、国際RYLAカウンセラー八幡恵介会員(東京中央RC)を軸に多くの新世代関係者のご尽力に依り、着実に成果を上げています。

今回の31名を加えて、現在、当地区には205名のRYLArian(指導者養成プログラムの全工程を終了しAWARDを授与された者)が存在しています。毎年セミナーで30名前後RYLArianが新たに誕生することになります。

若さ溢れる才能あるエネルギー集団が、それぞれのフィールドでどんな活躍をしてくれるのか。ロータリーに対し、地域に対し、更に日本人としてのアイデンティティを持ちながら今のグローバルな社会で、どんなインパクトある行動をしてくれるのか、次世代にどう関わっていくのか、おおいに興味のあるところです。

委員会としては、この大きな可能性を秘めた人材の宝物を、ひとつの組織として如何に方向づけをすべきか真剣に模索しています。大きな課題です。

一つのことが「終わった」という安堵感と、「ここから新たに始まる」という緊迫感との矛盾する二つの思いに身を委ねながら、新世代の瑞々しい感性に、「啐啄」絶妙なタイミングで用意されたセミナーの効果を持続させ、どのような手段で次なる段階に繋げていくかを思案しています。



広報委員会 活動通信

地区広報委員会の活動

広報委員会 委員長 水野 雅生（東京銀座新RC）

各ロータリークラブへのアンケートのお願い。

ガバナー月信2010～11年度の広報委員会活動通信にてお知らせしたように、ロータリーにおける広報の重要性はロータリー活動を外部に向っての広報をして頂くことにあり、ロータリー発展と奉仕活動を改善、拡張するために、ロータリーが何をしているのかについて、自ら他の人に知らせ、地域社会におけるクラブの存在を一層際立たせる力となるように書かせて頂きました。今年度の地区広報委員会での事業として、各ロータリークラブが今までにどのような広報活動をしたかアンケートを頂く事になりました。貴ロータリークラブでは今までにどのような広報活動を行いましたか？お知らせ頂ければ幸いです。別途、ガバナー事務所より文書でアンケートのお願いを発信させていただきます。

■ 継続事業の東京マラソン ■

各クラブの広報を支援させて頂くことが地区広報委員会としての役目ですが、本年も継続事業として東京マラソンを支援して行くことになっています。第4回東京マラソンは、2011年2月27日(日)に行われます。本年も第一回の打ち合わせを都庁舎で行われました。その結果ロータリークラブがボランティアとして行うことは今年も一般市民ランナーに対する給水活動です。一般都民ボランティアの募集が多く、ロータリークラブの活動拠点として築地地区に指定され、260名となりました。よって今年度は銀座・日本橋グループの9クラブで担当していただくことになりました。



銀座ローターアクトの皆さんも協力



築地入船橋付近での給水活動

その他の事業として、「都会の中にあってもミツバチを通して、自然環境の大切さを感じ、そこから自然と共生する街の活動を続ける」ことで地域社会にロータリークラブの活動をアピールして行く事を広報委員会として支援することになりました。

■ でも…どうして都会でミツバチ？ ■

環境指標と言われるほど弱い生き物達が、都会の真ん中で元気に暮らせることは、私たち都市住民にとっても大切なことだったのです。こうして街の中で始めた、ミツバチは私たちに社会の様々な問題を教えてくれます。都会の中にあってもミツバチを通して、自然環境の大切さを感じ、そこから自然と共生する街の活動を続ける。ヒートアイランドを押さえる効果もある都会の屋上緑化を進め、ミツバチなどが好む花や木を植える活動を広めることを提案しています。公園や街路樹、屋上緑化などを提案することを主な事業としていますが、手始めに地区のロータリークラブへ卓話をお願いしています。

■ 花の都だった銀座周辺 ■

屋上でミツバチを飼うプロジェクトが始まって今年で5年目。まるで草原で作業している錯覚にとらわれますが、後ろの背景はまさに銀座のビル、遠く丸の内の高層ビルなども見える繁華街の真ん中で、蜜源になるような花があるのかと不思議に思われるでしょう。毎年、3月後半のソメイヨシノから始まって菜の花、菜の花は浜離宮に最盛期30万本が一斉に咲き誇ります。その後、霞ヶ関のトチノキ、マロニエ通りのマロニエやベニバナトチノキ。赤い血のような花粉が入ってくるから直ぐに分かります。しばらくすると皇居の内堀通りを日比谷公園から英国大使館まで囲むユリノキ、モチノキ、皇居内のミカンや金柑、現在は並木通りのリンデンが満開で通り全体が爽やかな花の香りで充満しています。



青山RCでの田中淳夫広報委員の
銀座ミツバチについて熱く語る卓話



三越銀座店屋上でもミツバチの菜
(京橋・築地小学校4年生苗植作業)

今後、地区広報として銀座周辺で広がる屋上緑化に種や苗を寄贈し、中央区の福祉事業所さわやかワーク中央の活動に役立てて頂く予定です。単なる養蜂からミツバチを通じて人と人が繋がる交流に広がりつつあります。

クラブ紹介

東京レインボーロータリークラブ

2010-11年度 会長 佐古田 守建

当クラブは、東京新橋ロータリークラブをスポンサークラブとして、2000年4月24日に創設され、同年5月3日、RIに承認されました。

チャーターメンバーは47名で、このうち16名が女性会員。2010年10月1日現在の会員数は38名で、このうち14名が女性会員です。

例会はレインボーブリッジの眺望が美しいホテル日航東京で行い、開始時刻が午後6時30分からの夜間例会です。「親睦第一」というスポンサークラブのモットーを引き継ぎ、創立当初からのテーマである「明るく、楽しく、爽やかに」を実践しております。

今年の4月に10周年を迎えました。出席カードに押印するPという文字は、出席する(Present)ではなく参加する(Participate)という意味のPです。会員一人一人の参加で、新世紀に相応しいロータリークラブを作り上げていきたいと願っております。



東京大崎ロータリークラブ

2010-11年度 会長 坂田 正昭

今年度の東京大崎ロータリークラブのテーマは『奉仕と親睦、魅力あるロータリーライフ』であります。更に親睦活動を推進し会員相互の理解を深め『魅力あるロータリーライフ』を作り上げていきたいと思っております。国際的なプロジェクトとしては、貧困で教育が進まないフィリピン・セブ島にある小学校に『学用品の寄贈』等、教育復興の奉仕や、地域のコミュニティーとして品川区知的障がい者地域生活サポート事業『サポート24』の支援計画に賛同し、奉仕活動を行います。これらの活動以外にも、姉妹クラブである『台湾・台北華南ロータリークラブ』、『ハワイ・パールハーバーロータリークラブ』と国際親善を更に深め、共同で国際的な奉仕活動に取り組みたいと考えております。また、2010年5月に友好クラブ締結を結んだ『神戸中ロータリークラブ』とも新たに親善を深めて参ります。本年度も、皆様方のご協力を宜しくお願い致します。



東京シティ日本橋ロータリークラブ

2010-11年度 会長 大川 幸一郎

東京シティ日本橋ロータリークラブは、東京日本橋東ロータリークラブをスポンサーに1991年3月15日に創立され、本年度20周年を迎えます。会員数は現在49名で創立時の66名より減少しておりますが、老壮青のバランスのとれた明るく開放的なクラブで、例会場は「ロイヤルパークホテル」です。

本年度のクラブターゲットは「ロータリーを学び、ロータリーを楽しもう」と致しました。充実した明るいクラブの例会こそクラブ成長の根源です。様々な分野で活躍されている方々をお迎えしての卓話、7月の東京ベイコートでの炉辺会を皮切りに、月毎予定された旅行会・観劇会・歓桜会等 会員相互の親睦を図ると共に、2月には濱田屋でのレディース会を予定し永年にわたりクラブ・会員を支えて下さった奥様方への感謝の会を企画しております。

当クラブ独自の社会奉仕活動として日本橋中学校吹奏楽部への援助を11年間継続して行っており、同校との交流を深めてまいりました。更に日本橋地区4クラブの共同奉仕活動にも積極的に参加しております。

充実した例会運営と適切な会員数への増加を目指し、ロータリーの奉仕について発展の歴史と共に会員の理解を深め奉仕活動に積極的に参加することが本年度の課題です。



東京京浜ロータリークラブ

2010-11年度 会長 井上 忠道

当クラブは2007年度より、出席率向上を目指してメークアップ奨励に則した試験プロジェクトを導入し、例会を朝例会月2回、夜例会月1回と云う変則的なプログラムに挑戦して3年になります。朝例会において出席率の向上があり、又夜例会は2ヶ月に一度の個別学習ができ、夫婦同伴で楽しみながら、又入会可能な方を同伴して頂くなど、増員と退会防止に務めています。当クラブは地域に根付いた奉仕活動と広報活動に力を注ぎ、アザラシに似せた癒し系ロボット“パロ”を品川区の協力を得て品川区立知的障害通園施設に提供して楽しんでもらっています。又、東京で唯一の人工浜辺の清掃活動「ビーチクлинаップin城南島「綺麗な浜辺を子供達に」」のスローガンで清掃活動を実施、子供達に「美化」という環境保全意識を植えつけ、生涯を健康的に過ごせる社会の実現を目指し、子供達と共に奉仕活動を行っています。



クラブ紹介

東京マリーンロータリークラブ

2010-11年度 会長 菊池 学自

クラブは創立2年目から骨髄バンク委員会を常設して骨髄移植に伴うドナー登録の支援として年2回の奉仕活動をおこなっております。内容としては、来年4月に第17回を数えませず骨髄バンクチャリティーゴルフコンペで100人位の一般の方募集中心に開催予定です。大勢の方々が訪れる宿場祭りに東京マリーンRCでブースを借り会員や知人からバザー品を集たり長野県松川村の農家の協力を得て野菜や果物を販売しております。今年は天候不良の影響を受け少ない仕入れにも拘らず、会員努力で目標収益を上げることが出来ました。

毎年楽しみに訪れる方も大勢いて東京マリーンRCの地域社会奉仕活動を多くの方に知ってもらい広報に役立っていると胸を張れます。

収益は公的骨髄バンクを支援する東京の会、骨髄バンク推進財団と佐藤さちこ基金(患者家族支援目的)に寄付をしております。活動で会員の結束力を深め新たな奉仕活動を実行していく上で今年度のクラブテーマでもある「誇りと希望」を持ち続けています。今年度国際奉仕にも何かを実行しようと模索しております。



東京渋谷ロータリークラブ

2010-11年度 会長 星野 浩一

私たちのクラブは恵比寿ロータリークラブの子クラブとして誕生し、創立10周年になります。来年5月16日、創立10周年記念行事を開催します。

会員数40名(男性23名・女性17名) 例会：月曜日12:30～
例会場所：セルリアンタワー東急ホテル

例会の雰囲気は常にやさしく和気あいあいです。ちょっと力強さに欠けるかなという気がします。今年度の重点目標は10周年記念行事の成功です。又、クラブ中心の運営を考えています。奉仕活動は昨年地区特別広報賞をいただいた渋谷区こども善行表彰制度を継続し、さらに充実、区内のこども達の一人でも多くに知ってもらい、ロータリークラブの広報に役立たせたいと思います。同好会はゴルフに加え、茶の湯同好会を充足し、10周年の会場で「茶の湯」を楽しんでいただければと思います。

又、10周年の記念として、渋谷区に「平和の鐘」を寄贈します。11月7日に贈呈式を行います。

例会には渋谷・青山学院ロータリークラブの会員さんも毎回出席していただき、週報の発行の手伝いをしてもらっています。若い人の意見を聞くのも楽しみです。ぜひ例会に遊びにいらしてください。



東京広尾ロータリークラブ

2010-11年度 会長 井上 頌夫

東京広尾ロータリークラブは、第2750地区の中にあつて、唯一、英語と日本語のバイリンガルで例会を行っている国際色あふれた、特色のあるクラブです。例会には、出張で来日した外国人のロータリアンがメイキャップに訪れる事も多く、ちょっとした国際交流の場となっています。会員規模こそ小さいクラブですが「山椒は小粒でピリリと辛い」の言葉のごとく、地区でも存在感のあるクラブなのではないかと自負しております。最近の主な活動としては、新世代奉仕活動として、カナディアン・インターナショナルスクールにインターアクトクラブを設立し、6月24日にRI加盟の認証を受けました。

また、2年前より続けている「ケニアに井戸を掘ろう」という飲料水支援プロジェクトは、我がクラブの国際奉仕活動の柱となっており、今年も11月26日にファンドレイズのチャリティーディナーを開催致します。今後も、クラブの特色を生かした活動をしていこうと、会員全員が協力体制で頑張っています。



東京青山ロータリークラブ

2010-11年度 会長 保田 和江

青山ロータリークラブは2003年9月に駒場ロータリークラブより名称変更を得て、今日に至っております。場所は表参道と青山通りの角から2件目の青山ダイヤモンドホールで地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線の表参道駅B5出口から直接、雨の日も濡れないで例会場に来る事が出来、周辺の表参道は高級ブティックが連なり、どこか欧州風な風景を要しています。

このような場所の例会場で、今年度33名内女性会員8名のとてもアットホームなクラブ運営を心がけております。今年度は「親睦を大切にロータリーの(輪)を広げよう」と言うクラブテーマを掲げ、特に地域社会と人々との積極的なコミュニケーション活動、グローバルな交流を活発にロータリー活動を鼓吹し、また他クラブのロータリアンの皆様と親睦を深め、共により良い奉仕活動を行いたいと希望します。

多くのロータリアンの皆さんの当クラブへの例会ご参加を会員一同歓迎致します。



クラブ紹介

東京自由が丘ロータリークラブ

2010-11年度 会長 宮野 カー

東京自由が丘ロータリークラブは、東京城南ロータリークラブをスポンサークラブとして目黒区域4番目のクラブとして設立されました。山の手グループ初めての夜例会クラブでした。

会員減少が話題となっている昨今ですが、当クラブも21名の少数精鋭のクラブです。

地域に根ざし密着した奉仕活動を考え、一昨年より東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団と共催し、生のオーケストラの素晴らしさを子供たちと家族が体験する機会をつくりながら地域福祉支援を行う「親と子供のふれあいコンサート」を行っております。今年度は「ロータリーの原点を考えよう」をテーマに活動しております。

又、当クラブも創立して20年目に入り、記念プログラムを検討している処ですが ①ロータリー活動の基本理念に則り周年行事を行う。②ロータリアンとしての内なる向上を目指し勉強の場と考え対外的な奉仕活動の実践だけでなく、



会員自身ロータリー活動の目的・手法を理解するプログラムにする。この二点を基本に来年5月に記念例会を行う予定です。

東京飛火野ロータリークラブ

2010-11年度 幹事 大塚 洋晃

奉仕活動の一環として毎年日野市内の障害者施設「夢ふうせん」慰問を行っています。バーベキューで通所者・職員の皆さんに肉・野菜・焼きそばを振舞います。大変好評で食後は全員でマスゲーム等で交流を深めています。数年前から地域自治会・ボランティア団体と共に「ホテルを復活させる会」を結成「ホテルの里づくり」に協賛して日野市自然体験施設「落川交流センター」内に作られたビオトープに地下水を汲み上げ水路を設け植樹し蜜が生息できる環境を整えてきました。本年3月カワニナを獲り蜜の幼虫と放流。6月には蜜の観賞会が開かれ沢山の市民がつめかけクラブでは訪れた米山奨学生を交え親睦会を開催。市内の「蜜の名所」を夢見ています。又、9月に東京日野RCと協同提唱で現役を離れた専門的職業人・実業人が経験を活かし親睦と社会貢献をめざす「東京日野プロバスクラブ」を設立、10月5日辰野克彦ガバナーを迎え盛大に創立式典を開催しました。



東京昭島中央ロータリークラブ

2010-11年度 幹事 岩崎 元

東京昭島中央ロータリークラブは、東京昭島ロータリークラブをスポンサークラブとして平成2年に誕生しました。当クラブは多摩中グループで唯一夜間例会のクラブであり、現役世代の若い経営者が多数在籍しています。



一昨年に創立20周年、昨年度は当クラブよりガバナー補佐を輩出し、クラブとして貴重な経験をさせていただきました。

本年度事業として、昭島市民くじら祭への参加、パラグアイ子ども用車椅子を送る事業、青少年野球教室など、会長テーマ「一致団結」の下、会員一丸となって活動しています。

又、現在43名であるメンバーを、今年度中に50名体制へと目標を定め、増強委員会をはじめ各会員が活発な活動を行い、新たな仲間を迎える機運が高まっています。



東京武蔵国分寺ロータリークラブ

2010-11年度 会長 鈴木 義明

私達のクラブは来年で20周年を迎える若いクラブです。そして常に前向き、成長し続けています。元気、そしていろんな活動に積極的に取り組もうとする勢いがあります。新しいことにチャレンジしていこうという時には、もちろんいろんな意見がでます。ベテランのチャーターメンバーから経験が浅いメンバーまで自分の思ったことをはっきりと口にだします。お互いに腹に思ったことを出しあえば、あとは皆の決定に従って協力していく。そんなお互いを思いやり、そして相手の立場にたって考えることのできるクラブです。個性的で自己主張の強いメンバーが数多くいながら、まとまっているのが私達クラブの特徴です。



(文責：クラブ広報委員長 百田晶子)



クラブ紹介

東京たまがわロータリークラブ

2010-11年度 会長 伊東 正文

東京たまがわロータリークラブは狛江市に事務局を置く会員数26名のクラブですが、団結力はどこのクラブにも負けないと自負しております。夜間例会だからこそ出来る炉辺会合で親睦を図りながらクラブ体制、奉仕活動について語り合っています。また女性会員在籍で例会場の雰囲気も和み、毎回例会では四季折々の花を飾っていただいています。女性だから出来る配慮です。さて、奉仕活動では中国昆明市にある少数民族小学校と狛江市の小学校とのフレンドシップ協定を継続中。また地域を中心とした活動では盲導犬育成募金活動が11年、知的障がい者の皆様との交流が20年を迎える社会奉仕活動に取り組んでいます。



フレンドシップ協定締結式



クラフト教室(表札づくり)



地域を育み、大陸をつなぐ

米山功労者ご紹介

ご協力を感謝いたします

米山功労者

安保 満君	東京昭島	2010.9.9	1
菊池 秀三君	東京昭島	2010.9.9	4
小山 善治君	東京昭島	2010.9.9	2
森谷 晴一君	東京昭島	2010.9.9	4
渡辺 和義君	東京昭島	2010.9.9	16
竹内喜代司君	東京井の頭	2010.9.9	5
萩原 道雄君	東京世田谷南	2010.9.13	9
船橋 寛君	東京羽田	2010.9.14	9
船山 博之君	東京羽田	2010.9.14	1
勇崎 悦子君	東京羽田	2010.9.14	1
前 國尚君	東京成城新	2010.9.14	1
長井 守君	東京立川	2010.9.14	3
尾曾 利夫君	東京田園調布	2010.9.15	8
岩澤 廣元君	東京日本橋西	2010.9.16	5
安藤 文隆君	東京杉並	2010.9.17	3
堀野 雅章君	東京杉並	2010.9.17	11
日野 実君	東京世田谷南	2010.9.17	9
安藤 義治君	東京立川	2010.9.22	4
徳増 禮子君	東京原宿	2010.9.27	4
森川 暁君	東京原宿	2010.9.27	3
仲田 順和君	東京港南	2010.9.29	9
吉田 雅晴君	東京世田谷南	2010.9.29	17
星野 良三君	東京立川	2010.9.29	4
浅子 喬君	東京銀座	2010.9.30	10

ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル

ご協力を感謝いたします

溝口 勝巳君	東京八王子南	2010.8.27	
◎野原 勝敏君	東京中央	2010.9.3	
矢口 敏和君	東京中央	2010.9.3	
実方京一郎君	東京中央	2010.9.10	
◎木村 清信君	東京中央	2010.9.10	
◎木村 清信君	東京中央	2010.9.10	
◎小林 雄二君	東京中央	2010.9.10	
富田 榮吉君	東京中央	2010.9.10	
出川 博一君	東京目黒	2010.9.10	
◎末松 尚武君	東京目黒	2010.9.10	
◎安保 満君	東京昭島	2010.9.10	
◎勝野 隆昭君	東京昭島	2010.9.10	
◎西川 哲造君	東京昭島	2010.9.10	
◎萩原 道雄君	東京世田谷南	2010.9.17	
◎渡辺 勇君	東京小金井さくら	2010.9.17	
◎清原 元輔君	東京麻布	2010.9.24	
◎羽田 伊助君	東京目黒	2010.9.24	
◎福原 有一君	東京銀座	2010.9.30	
◎亀岡 成幸君	東京銀座	2010.9.30	
◎永井 孝彦君	東京銀座	2010.9.30	
◎土屋 了介君	東京銀座	2010.9.30	
◎桜井 幸雄君	東京世田谷	2010.9.30	
◎高橋 茂樹君	東京世田谷	2010.9.30	

新ベネファクターご紹介

ご協力を感謝いたします

太田 博隆君	東京羽田	2010.9.3
讚井 泰雄君	東京目黒	2010.9.10
佐藤 喜行君	東京井の頭	2010.9.17
伊藤 忠彦君	東京銀座	2010.9.30

文庫通信 (277号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

贈呈資料から

◎「広報 (Public Relations) とは…」

田岡久雄 2010 45p

申込先：日本事務局 FAX (03) 3903-3781

◎「ロータリーマジック 違いをもたらそう」

江崎柳節 2010 197p

申込先：江崎柳節 FAX (0568) 77-0239

◎「日本RC認証順位一覧」

前岡志郎 2010 56p

申込先：ロータリー文庫

◎「ロータリーの心と実践」

D. 2660 2010 90p

申込先：D. 2660 FAX (06) 6264-2661

◎「我等の生業」

行田さくらRC 2010 87p

申込先：行田さくらRC FAX (048) 564-3020

◎「マレーシア・ボルネオ島・サラワク州植林支援活動報告書」

上田東RC 2010 [28p]

申込先：上田東RC FAX (0268) 21-3501

◎「心学の祖 梅岩に学ぶ職業奉仕 真実かどうか? <DVD>」

亀岡RC 2010

申込先：亀岡RC FAX (0771) 25-2151

◎「ロータリー情報マニュアル第3版」

D. 2650 2010 786p

申込先：淵上勝夫 FAX (0779) 87-2560

◎「新作講談『日本のロータリー創始者・米山梅吉翁一代記』<DVD>」

宝井馬琴(講談) さいたま新都心RC 2010

申込先：ロータリー文庫



〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.or.jp

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

小倉バスター・ガバナーを偲んで

櫻井 昭二 (東京大森RC)

私が昭和54年にロータリーに入会した時、小倉氏はすでにチャーターメンバーで、その存在は大変大きなものでした。年は私より幾つか下でしたが、兄貴の様な感じでロータリーとは如何なる会であるかを身をもって教えて下さいました。小倉氏がガバナーに推挙されたとき私は幹事を仰せつかり、1年間常に小倉氏の側におり、その人物の大きさをつくづく感じました。その小倉氏が体調を崩され、ロータリーを退会され静養の為に軽井沢に行かれてしまった時は非常に寂しく思いました。そして、再度東京に戻られた時は、又、ロータリーの為に良きアドバイスを頂けるという思いで心から嬉しく思ったのも束の間、天国に召されてしまいました。残念。非常に残念。心より御冥福をお祈り申し上げます。

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



竹内 喜代司 (東京井の頭RC)

2010年6月6日逝去 (享年86歳)
1967年9月27日東京三鷹RC入会
1980-81年度 分区代理 (三鷹RC在籍)
1986年6月16日東京井の頭RC (創立メンバー)
1992-93年度 分区代理 (井の頭RC在籍)
1985-86年度 クラブ会長
1986-87年度 クラブ会長
ポール・ハリス・フェロー 米山功労者



船橋 寛 (東京羽田RC)

2010年10月7日逝去 (享年62歳)
1999年6月23日入会
2002-03年度、2008-09年度 クラブ幹事
2010-11年度 会長エレクト
2006-07年度 地区国際親善副委員長
2010-11年度 京浜グループ グループ幹事
ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター 米山功労者 (9回)

★国際ロータリー第2750地区出席報告 (9月分)★
District 2750 Membership Attendance Report September 2010

区分	クラブ名	例会	出席率	会員数			区分	クラブ名	例会	出席率	会員数		
				10年7月1日	10年9月末	増減					10年7月1日	10年9月末	増減
千代田グループ	東京南	4	77.46	178	177	-1	多摩南グループ	東京八王子	4	90.58	59	60	1
	東京芝	5	90.30	95	97	2		東京町田	3	68.63	56	56	0
	東京新橋	4	78.43	51	52	1		東京日野	5	83.70	36	36	0
	東京赤坂	4	78.00	48	48	0		東京八王子西	3	88.99	71	71	0
	東京みなと	4	86.50	48	50	2		東京町田・中	5	74.40	38	38	0
	東京レインボー	3	72.81	39	38	-1		東京八王子東	4	74.99	25	24	-1
銀座・日本橋グループ	東京麻布	3	74.00	22	23	1	東京八王子南	5	83.08	53	54	1	
	東京銀座	4	80.21	158	157	-1	東京町田サルビア	4	88.98	24	25	1	
	東京日本橋	4	80.09	180	183	3	東京飛火野	4	70.83	30	30	0	
	東京築地	3	89.50	64	66	2	東京町田東	4	79.59	25	25	0	
	東京日本橋東	3	78.15	52	52	0	東京八王子北	4	87.12	33	35	2	
	東京中央	4	75.00	238	241	3	東京立川	4	97.30	97	100	3	
京浜グループ	東京日本橋西	4	88.13	44	44	0	多摩中グループ	東京小金井	4	91.45	30	33	3
	東京銀座新	4	80.46	69	71	2		東京国分寺	4	96.78	43	43	0
	東京シティ日本橋	4	76.11	49	49	0		東京三鷹	4	78.90	41	42	1
	東京中央新	3	64.80	38	37	-1		東京昭島	4	76.60	53	50	-3
	東京羽田	5	79.07	43	46	3		東京国立	5	98.17	50	50	0
	東京品川	4	89.15	62	62	0		東京立川こぶし	4	80.13	79	82	3
山の手東グループ	東京大森	4	86.82	49	49	0	多摩東グループ	東京井の頭	3	91.70	24	24	0
	東京品川中央	3	82.53	58	58	0		東京昭島中央	5	70.00	42	43	1
	東京大井	3	72.55	18	17	-1		東京武蔵国分寺	4	86.00	47	48	1
	東京田園調布	3	89.74	45	45	0		東京小金井さくら	4	80.29	23	23	0
	東京港南	4	75.00	18	19	1		東京国立うめ	3	92.14	17	19	2
	東京大崎	4	82.24	38	38	0		東京府中	5	77.13	61	62	1
山の手西グループ	東京蒲田	3	92.38	62	63	1	バシフィック・ペイシフィックグループ	東京調布	3	89.62	61	61	0
	東京京浜	3	80.95	23	23	0		東京多摩	4	84.34	22	23	1
	東京田園調布緑	4	84.91	25	25	0		東京狛江	4	92.41	30	30	0
	東京マリン	4	70.59	17	17	0		東京稲城	4	69.91	30	31	1
	東京白金	4	81.20	28	28	0		東京武蔵府中	4	72.79	57	57	0
	東京高輪	2	80.00	25	25	0		東京たまがわ	5	80.00	26	26	0
山の手西グループ	東京城西	3	75.94	151	152	1	東京多摩グリーン	5	79.37	36	38	2	
	東京城西	5	73.72	77	78	1	東京調布むらさき	4	82.85	82	82	0	
	東京西南	4	76.91	52	55	3	Guam	5	55.00	66	67	1	
	東京原宿	4	83.15	26	25	-1	Saipan	4	52.00	39	38	-1	
	東京杉並	4	74.64	40	43	3	Tumon Bay	4	32.35	88	84	-4	
	東京神宮	5	68.27	29	29	0	Northern Guam	4	44.75	39	38	-1	
	東京恵比寿	3	73.80	96	97	1	Pohnpei	4	51.00	21	21	0	
	東京広尾	4	80.65	20	21	1	Palau	4	45.35	15	17	2	
	東京渋谷	3	70.71	40	39	-1	Guam-Sunrise	4	52.00	30	30	0	
	東京六本木	3	68.00	50	51	1	Truk Lagoon	4	40.00	11	11	0	
	東京世田谷	4	91.11	56	57	1	国内83クラブ計			4,300	4,353	53	
	東京目黒	4	85.88	44	45	1	地区91クラブ計			4,609	4,659	50	
東京成城	4	77.78	22	22	0	千代田グループ	79.64	多摩南グループ	80.99				
東京世田谷南	4	81.00	88	89	1	銀座・日本橋グループ	79.16	多摩中グループ	86.62				
東京城南	2	66.00	34	35	1	京浜グループ	81.94	多摩東グループ	80.94				
東京山の手	3	83.61	60	63	3	山の手東グループ	74.58	PBグループ	46.56				
東京成城新	3	82.29	31	32	1	山の手西グループ	79.87	平均出席率	77.72				
東京青山	4	75.00	29	28	-1								
東京自由が丘	4	91.11	21	21	0								
東京世田谷中央	4	72.95	22	22	0								
東京米山友愛	5	71.85	27	28	1								

編集後記

各クラブ事務局に、ガバナー補佐(依頼:地区活動通信・ガバナー公式訪問・他)、並びに、ガバナー月信・IT委員会(依頼:クラブ紹介)からの『原稿依頼』において少し混乱がおり、関係された皆様にもいろいろとご迷惑をお掛けいたしましたことお詫び申し上げます。

辰野ガバナー年度の『地域を育み 大陸をつなぐ』というテーマの下に最後まで充実したガバナー月信作成を心掛けますので皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

2010-11年度ガバナー月信・IT委員会 委員 松田 美房 (東京羽田RC)

国際ロータリー第2750地区 2010-11年 ガバナー 辰野 克彦

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2010-11 Governor Katsuhiko Tatsuno

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行:ガバナー 辰野 克彦(2010-11) ©Katsuhiko Tatsuno 2010

編集・制作:ガバナー月信・IT委員会 委員長 堀口 昇治 副委員長 山見 真弘 副委員長 木村 清信

副委員長(年次報告書担当) 竹平 時彦 Andrew WONG 島村 博之 望月 耕次 松田 美房 石黒 重徳 森本 行俊 清野 修一

浅見 省三 河村 勝久 坂場 一隆 Brian McDERMOTT

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>